

## 目次

■ <b>経済指標で見るロシアの中の極東・東シベリア</b> .....	鳴沢 政志 1
■ <b>統計速報</b> .....	9
2015年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／9	
2015年1～8月の日ロ貿易／10	
■ <b>モスクワほっとニュース</b> .....	11
古き良きモスクワの散策(7): ポリシャヤ・ブロンナヤ通り～パトリアルシエ池／11	
■ <b>エトセラ</b> .....	13
「カザフスタン水ビジネス推進ミッションのご案内」のご案内／13	
■ <b>トピックス</b> .....	13
アツミテック、ロシア工場16年に本格稼働／13	
国交省がウズベクでインフラ会議を開催／13	

## 経済指標で見るロシアの中の極東・東シベリア

ロシアNIS経済研究所  
 研究員 鳴沢 政志

### はじめに

ロシアNIS貿易会では、先日、ロシアのウラジオストク市で開催された「東方経済フォーラム」に合わせ、「ロシア極東経済ミッション」を派遣し、その枠内で実業ロシアと共催で二国間セッション「日ロビジネスラウンドテーブル」を開催した。『ロシアNIS調査月報』2015年11月号(10月20日発行予定)では、このフォーラムとミッションの模様を紹介することを中心に、ロシア極東経済の特集をお届けするので、ぜひご利用いただきたい。速報の今号では、月報の極東特集と連動する形で、いわばその導入編として、極東・東シベリア地域の経済指標を、各種統計をもとにとりまとめてお届けする。急速に開発が進むロシア東部の経済を理解するための基礎資料としてご活用いただければ幸いである。

### 東シベリア地域とはどこか？

近年、プーチン大統領の主導で開発が進められている「極東・東シベリア」。しかし、連邦統計局などから発表されている統計を見ても、極東連邦管区とシベリア連邦管区があるだけで、肝心の「東シベリア」は見当たらない。もともと、東シベリアとは、ロシアで連邦管区制以前に導入されていた、経済地区の中の一つであった。その後、2000年からは、現在の連邦管区制が導入され、東西シベリア経